

# 菊舎

下関市立美術館・下関市立歴史博物館共同企画展

旅と友を愛したひと  
—旅編—

2024  
6.7(金) ⇒ 7.15(月・祝)

下関市立美術館  
Shimonoseki City Art Museum

〒752-0986 下関市長府黒門東町1-1 Tel.083-245-4131

- 開館時間：9時30分～17時(入館は16時30分まで)
- 休館日：毎週月曜日(7月15日は開館)
- 駐車場：無料
- 観覧料：一般500円(400円) 大学生等400円(300円)
- ※( )内は平日料金。
- ※下関市内に居住する65歳以上の方は半額(要公的証明書)。
- ※18歳以下の方、障害者手帳をお持ちの方は観覧料無料(要公的証明書)。
- 主催：下関市立美術館・下関市立歴史博物館
- 協力：菊舎顕彰会



かほり流すいそまほろこや茶珠

茶舎



「かほり流す」句  
自画賛  
鳥居と菊図  
個人蔵

# 菊舎

下関市立美術館・下関市立歴史博物館共同企画展

旅と友を愛したひと  
—ふるさと編—

2024  
6.7(金) ⇒ 7.21(日)

下関市立歴史博物館  
Shimonoseki City Museum of History

〒752-0979 下関市長府川端二丁目2番27号 Tel.083-241-1080

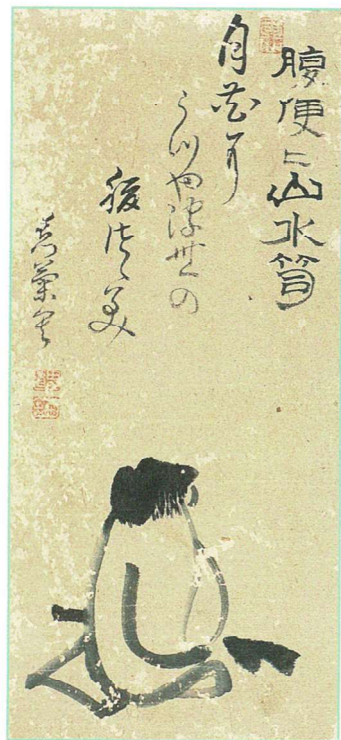
- 開館時間：9時30分～17時(入館は16時30分まで)
- 休館日：毎週月曜日(7月15日は開館し、翌16日休館)
- 駐車場：一般26台(有料) 身障者用2台(無料)
- 観覧料：一般210円(160円) 大学生等100円(80円)
- ※( )内は20名以上となる団体料金。
- ※下関市内に居住する65歳以上の方は観覧料100円(要公的証明書)。
- ※18歳以下の方、障害者手帳をお持ちの方は観覧料無料(要公的証明書)。
- 主催：下関市立美術館・下関市立歴史博物館
- 協力：菊舎顕彰会

乳満仕茶珠  
磨く晴や汐干  
志摩ふるさと

茶舎



「磨く晴や」句  
自画賛  
干満二島図  
個人蔵



「月花に」句自画賛 弾琴図  
美術館展示

# 旅する女流文人田上菊舎

宝暦3年(1753)―文政9年(1826)

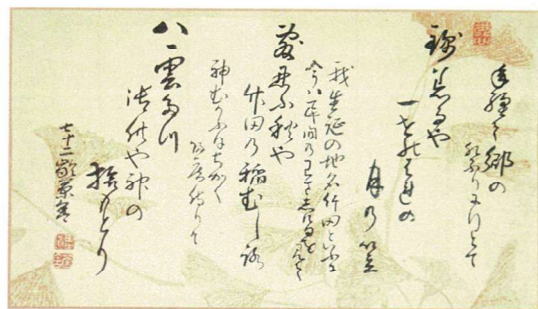
街道や宿場が整備され、多くの人々が旅を楽しんだ江戸時代。そのなかでもひとときわ輝きを放つのが、田上菊舎です。

菊舎は、現在の下関市豊北町田耕<sup>たつき</sup>の出身。若くして夫を亡くすと、風雅の道に生きることを決意し、俳諧修行の旅に出ます。全国各地の文人たちと交流するなかで、菊舎は、俳諧のほかにも様々な文芸を身に付け、数多くの作品を遺しました。

諸芸を磨きつつ菊舎が旅した距離は、2万2千キロに及ぶともいわれます。晩年の菊舎は、家族が住む長府に落ち着き、亡くなるまで創作活動に励みました。

下関市立美術館と下関市立歴史博物館の共同で開催する本企画展では、市内の個人所蔵家のコレクションを通じて、旅をこよなく愛し、探究心の赴くままに学び続けた菊舎の魅力を紹介します。

## ●生誕地田耕へ



「錦着るや」句書  
歴史博物館展示

## 関連催事

### 企画展関連講座① 菊舎入門

- 日時: 令和6年6月19日(水)・6月23日(日) ※いずれも10:30~11:30
- 講師: 下関市立歴史博物館 学芸員 松田和也
- 内容: 田上菊舎の生涯をご紹介します。 ※各回内容は同じ

### 企画展関連講座② 菊舎が生きた時代

- 日時: 令和6年7月3日(水)・7月7日(日) ※いずれも10:30~11:30
- 講師: 下関市立美術館 学芸員 関根佳織
- 内容: 菊舎と同時代の絵師の作品を紹介します。 ※各回内容は同じ

### [2講座とも]

- 場所: 下関市立歴史博物館 ガイダンス交流室
- 定員: 各回35名 要予約

令和6年6月7日(金)9:30より歴史博物館に電話(083-241-1080)、または歴史博物館受付にて受付開始

### ■資料代:300円

### ギャラリートーク

- 日時・場所:  
令和6年6月12日(水) 歴史博物館10:30~11:10 美術館13:30~14:10  
令和6年6月15日(土) 歴史博物館10:30~11:10 美術館13:30~14:10  
※予約不要・要観覧券



## ●晩年でも衰えない好奇心



「しらべ清し」句自画賛 松と鼓図  
歴史博物館展示

## 俳句相撲選手権 美術館場所

下関市内の小学校4年生~6年生から募集した俳句のうち、菊舎顕彰会での予選を通過した24作品で俳句相撲をおこないます。相撲の勝敗は、会場にお越しいただいた観覧者が挙げたうちの数で決めます。皆様ぜひご来場ください。

- 日時: 令和6年6月30日(日) 13:00~16:00
- 場所: 下関市立美術館 講堂

### [作品展示]

予選を通過した24作品は、7月2日(火)から7月21日(日)まで下関市立歴史博物館のエントランスにて展示します。



## 下関市立美術館

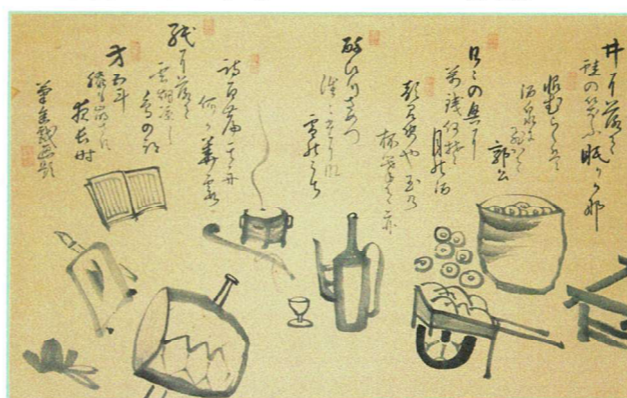
### ―旅編―

美術館担当学芸員 関根佳織

菊舎は江戸時代で最も旅した女性とされています。北は松島から南は阿蘇や長崎まで、40年余りにわたる旅のなかで、菊舎はその土地の風土や人々との交友を俳画のかたちで表現していきます。美術館では各地で制作された約60点を展示します。



## ●杜甫「飲中八仙」のオマージュ作品



飲中八仙戯画  
美術館展示



## 下関市立歴史博物館

### ―ふるさと編―

歴史博物館担当学芸員 松田和也

旅に明け暮れる菊舎の支えとなったのが、両親を始めとするふるさとの人々の存在です。また、晩年の菊舎は、家族の住む長府に落ち着いて創作に励みました。

歴史博物館では、ふるさととのつながりを中心に菊舎の作品を展示します。

## 同時開催

### 菊舎顕彰会主催

## 「菊舎・東海道五十余駅画賛今昔」

- 会期: 6月7日(金)~6月16日(日)  
9:00~16:30  
(初日は13:00から、最終日は15:00まで)

- 場所: 長府庭園 三の蔵(下関市長府黒門東町8-11)  
※観覧は無料ですが、長府庭園への入園料が必要です。

「菊舎・東海道五十余駅画賛」と画賛の場所のスナップ写真を並べて展示。旧東海道の雰囲気の色濃く残す宿場がある一方、すっかり様変わりしてしまった場所もあります。その変わり様を観ていただきます。

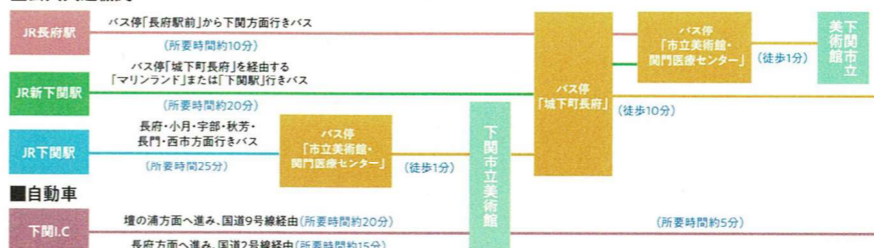
## ●東海道五十三次をゆく



東海道五十余駅画賛下絵  
美術館展示

### 《交通のご案内》

#### ■公共交通機関



※出品資料は全て個人蔵



下関市立美術館 〒752-0986 下関市長府黒門東町1-1  
Shimonoseki City Art Museum Tel.083-245-4131  
https://www.city.shimonoseki.lg.jp/site/art/

下関市立歴史博物館 〒752-0979 下関市長府川端二丁目2番27号  
Shimonoseki City Museum of History Tel.083-241-1080  
https://www.shimohaku.jp